

東日本大震災からの 復興の取組状況



目次

- 1 陸前高田市における東日本大震災による被害の状況
- 2 市内における応急仮設住宅等への入居状況
- 3 陸前高田市震災復興計画の概要
- 4 復興に向けた取組状況
 - (1) 防潮堤整備事業
 - (2) 被災市街地土地地区画整理事業
 - (3) 防災集団移転促進事業
 - (4) 災害復興公営住宅等整備事業
 - (5) 復興道路整備事業(都市計画道路等)
 - (6) 公共施設の整備状況
 - (7) 高田松原津波復興祈念公園
 - (8) 高田地区中心市街地の形成
- 5 奇跡の一本松の保存、復興まちづくり情報館による情報発信
- 6 復興に向けた市の予算規模・職員体制

1 陸前高田市における東日本大震災による被害の概況

《地震の状況》

発生時間	平成23年3月11日(金)午後2時46分
震源域	岩手県沖から茨城県沖
地震の規模	マグニチュード9.0
本市の震度	震度6弱(推定)
震源の深さ	約24km

《津波の状況》

津波浸水高(最大)	17.6m (高田町字法量 ^{ホウリョウ})
津波浸水面積	13km ² (市の総面積 232.29km ² の5.5%)

《被害の主な状況》

(1) 人的被害状況 (H28.10.31時点)

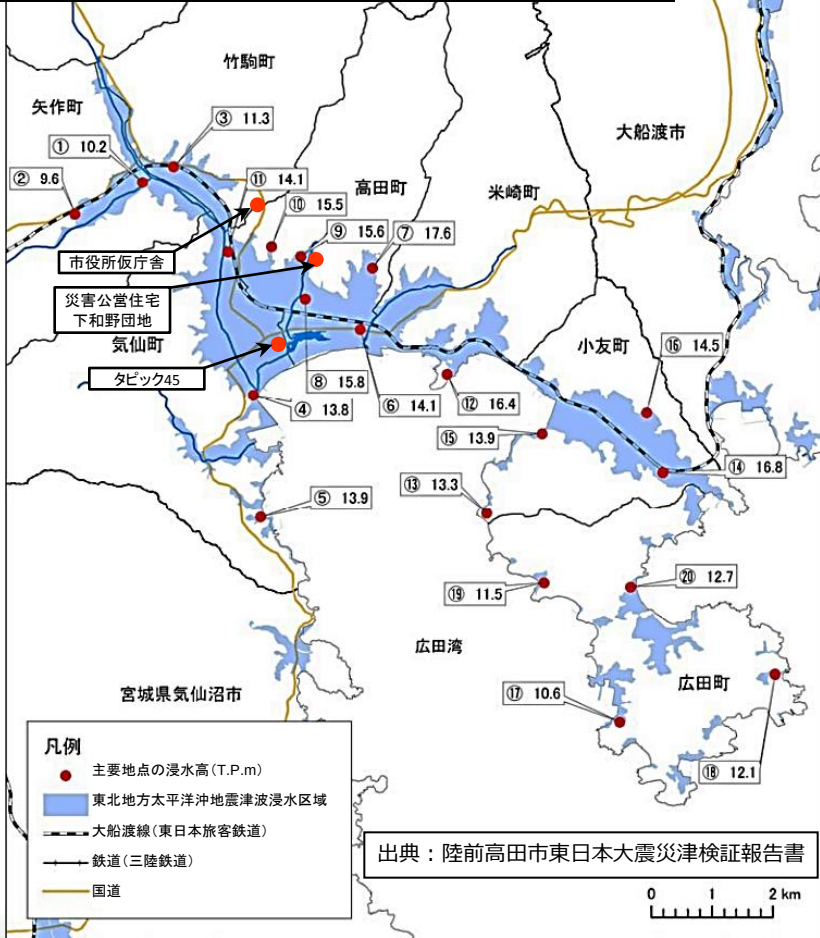
区分	被害数	備考
死者数	1,555人	関連死 46人含む
行方不明者数	204人(201人)	カッコ内は死亡届があった人数
合 計	1,759人	H23.2.28時点 人口24,246人の7.3%

(2) 家屋被害状況 (H26.6.30時点)

区分	被災世帯数		備考
全壊	3,805	うち津波被害	3,801
		うち地震被害	4
大規模半壊 ・半壊	236	うち津波被害	216
		うち地震被害	20
一部損壊	3,988	うち津波被害	46
		うち地震被害	3,942
合 計	8,029	うち津波被害	4,063
		うち地震被害	3,966
			H23.2.8時点 市内世帯数 8,069 の99.5%

《津波浸水区域と浸水高》

字名	浸水高	字名	浸水高	字名	浸水高	字名	浸水高
① 越戸内	10.2m	⑥ 下宿	14.1m	⑪ 中川原	14.1m	⑯ 柳沢	14.5m
② 神明前	9.6m	⑦ 法量	17.6m	⑫ 館	16.4m	⑰ 久保	10.6m
③ 十日市場	11.3m	⑧ 砂畑	15.8m	⑬ 瀬沢	13.3m	⑱ 大祝	12.1m
④ 川口	13.8m	⑨ 下和野	15.6m	⑭ 新田前	16.8m	⑲ 大陽里	11.5m
⑤ 要谷	13.9m	⑩ 鳴石	15.5m	⑮ 鳥嶋	13.9m	⑳ 後花貝	12.7m



※ 上記図面はH23年時点の当市の地図に浸水区域を表示したものの。

2 応急仮設住宅等への入居状況

《市内における応急仮設住宅等への入居状況》

(平成29年1月31日時点)

	応急仮設住宅等			
	応急仮設住宅		県内みなし 仮設住宅 (民間賃貸)	合計
	○ 内はH23.8月以降の最大数との差	(参考) H23.8月以降の最大数		
世帯数	822 (△1,317)	2,139 (H24.1月)	122	944
人数	2,053 (△3,582)	5,635 (H23.9月)	295	2,348

《応急仮設住宅への入居率》

(平成29年1月31日時点)

応急仮設住宅 建設戸数 (a)	2,060戸
応急仮設住宅 入居世帯数 (b)	822世帯
入居率 (b / a)	40%

3 陸前高田市震災復興計画の概要

《震災復興計画の概要》

震災復興計画

(H23.12策定)

将来に向けて希望と夢と安心のもてる本市の復興ビジョンを示し、多くの方の協働、連携により、本市の創生と活力向上に繋がる復興を実現しようとするもの。

震災復興実施計画

(H27.3策定)

震災復興計画に掲げる主要事業について、基本構想や基本計画の実現に向け、現状に即した見直しや新たに必要とされる事業を追加したもの。

《震災復興計画の構成と期間》

陸前高田市震災復興計画

基本構想

復興に向けた基本理念やまちづくりの目標を示す

構想の目標期間
(平成23年度～平成30年度)

(第1期)

(第2期)

基本計画

目標達成に向けた施策と整備目標を示す

復興基盤整備期
(平成23～25年度)

復興展開期
(平成26～30年度)

陸前高田市震災復興実施計画

《震災復興計画の基本理念とめざすまちの姿》

3つの基本理念

世界に誇れる
美しい
まちの創造

ひとを育て
命と絆を
守る
まちの創造

活力あふれる
まちの創造

復興のめざすまちの姿

海と緑と太陽との共生・
海浜新都市の創造

6つのまちづくりの基本方向

災害に強い
安全なまち

快適で魅力
のあるまち

市民の暮らし
が安定したまち

活力あふれる
まち

環境にやさしい
まち

協働で築くまち

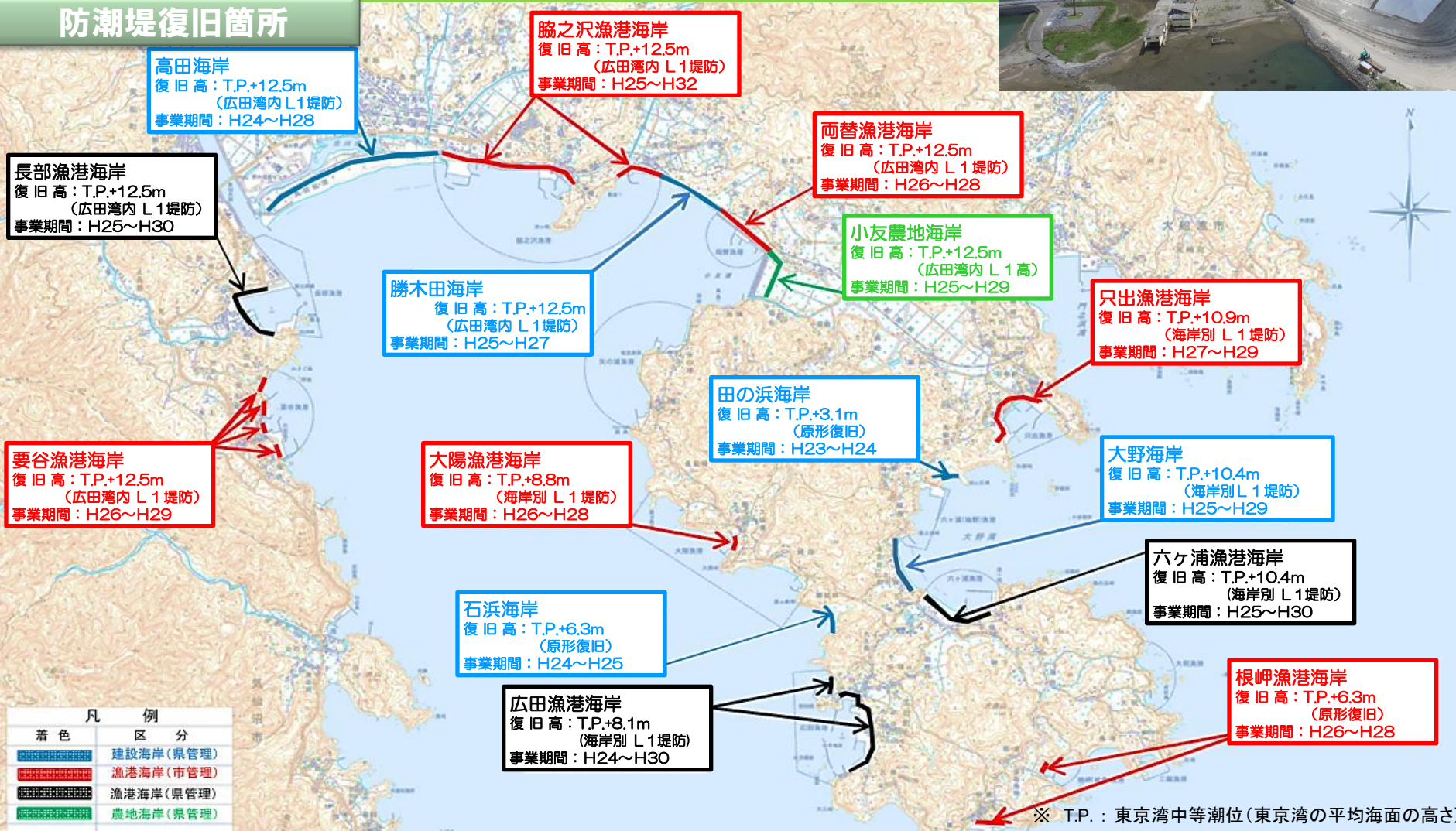
4(1) 防潮堤整備事業 ①

事業の概要

- 被災した海岸保全施設(防潮堤等)の災害復旧等を実施。

※ 防潮堤の復旧高は、一連の海岸や湾ごとに、数十年～百数十年の頻度で発生している比較的発生頻度の高い津波(L1津波)を対象として設定。

防潮堤復旧箇所



高田海岸の整備状況(H28年7月時点)



4(1) 防潮堤整備事業 ②

事業の進捗状況

- 防潮堤は、平成27年度末で、県整備の3箇所が完成。
- 災害復旧のほか、無堤区間2箇所においても新設整備を実施。

(平成28年9月30日現在)



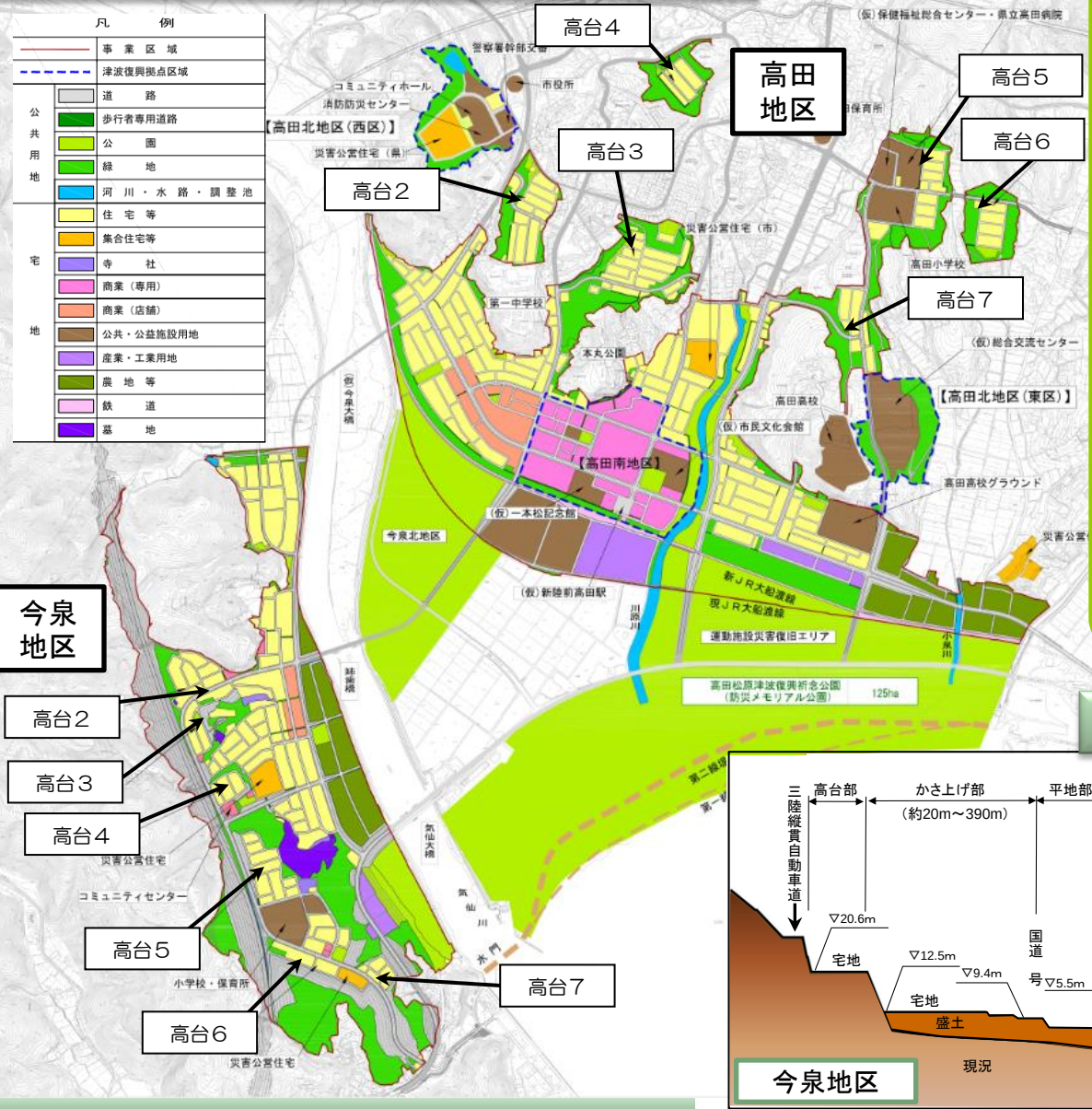
要谷漁港海岸の整備状況(H28年3月時点)

	箇所	事業主体	事業概要	防潮堤 復旧高(T.P.)	進捗状況	完成予定時期
建設海岸	大野海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=0.6km、離岸堤 L=0.3km 他	+10.4m	工事中	H29年度
	石浜海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=0.2km、離岸堤 L=0.12km 他	+6.3m	完成済み	H26.3月完成
	田の浜海岸	県	(災害復旧) 護岸工 L=0.04km、消波工 L=0.02km 他	+3.1m	完成済み	H25.1月完成
	勝木田海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=0.6km 他	+12.5m	工事中	H28.3月完成
	高田海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=3.9km、水門 N=1基、人口リーフ L=12km 他	+12.5m	工事中	H28年度
農地海岸	小友海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=0.6km、水門 N=3基 他	+12.5m	工事中	H29年度
漁港海岸	六ヶ浦漁港海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=0.7km、水門 N=2基 他	+10.4m	工事中	H30年度
	六ヶ浦漁港海岸(本港地区)	県	(新設) 防潮堤 L=0.2km、水門 N=1基 他	+10.4m	工事中	H30年度
	広田漁港海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=1.4km、水門 N=10基 他	+8.1m	工事中	H30年度
	広田漁港海岸(後浜地区)	県	(新設) 防潮堤 L=0.2km、水門 N=1基 他	+8.1m	工事中	H29年度
	長部漁港海岸	県	(災害復旧) 防潮堤 L=0.7km、水門 N=2基 他	+12.5m	工事中	H30年度
	只出漁港海岸	市	(災害復旧) 防潮堤 L=0.9km、水門 N=2基 他	+10.9m	工事中	H29年度
	根岬漁港海岸	市	(災害復旧) 防潮堤 L=0.5km 他	+6.3m	工事中	H28年度
	大陽漁港海岸	市	(災害復旧) 防潮堤 L=0.2km、水門 N=2基 他	+8.8m	工事中	H28年度
	両替漁港海岸	市	(災害復旧) 防潮堤 L=0.7km、水門 N=3基 他	+12.5m	工事中	H28年度
	脇之沢漁港海岸	市	(災害復旧) 防潮堤 L=1.9km、水門 N=9基 他	+12.5m	工事中	H32年度
	要谷漁港海岸	市	(災害復旧) 防潮堤 L=0.8km、水門 N=7基 他	+12.5m	工事中	H29年度

4(2) 被災市街地土地区画整理事業 ①

土地区画整理事業 事業区域(赤囲み部分)

凡 例	
	事業区域
	津波復興拠点区域
	道路
	歩行者専用道路
	公園
	緑地
	河川・水路・調整池
	住宅等
	集合住宅等
	寺・社
	商業(専用)
	商業(店舗)
	公共・公益施設用地
	産業・工業用地
	農地等
	鉄道
	墓地



事業の概要

・被災した市街地を復興するため、防潮堤の整備を前提とした東日本大震災による津波浸水シュミレーション結果を基に、津波浸水高を回避するかさ上げ地や高台造成による区画整理事業を実施。

〔施工面積〕

高田地区: 186.1ha
(高台45.0ha 嵩上げ87.4ha 平地53.7ha)
今泉地区: 112.4ha
(高台60.3ha 嵩上げ37.2ha 平地14.9ha)

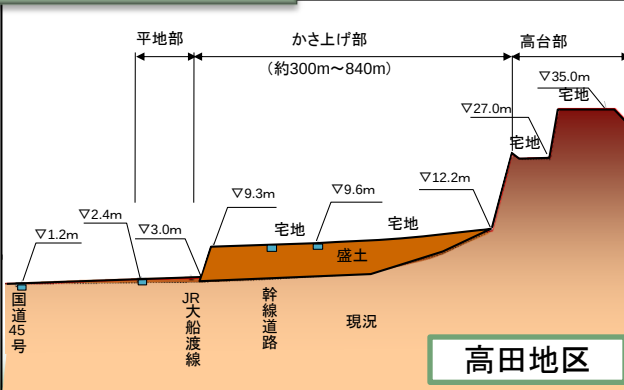
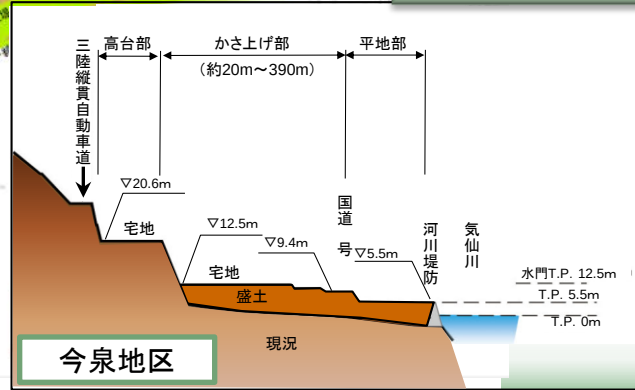
〔計画戸数・人口〕

高田地区: 戸数 1,560戸、人口 約4,300人
今泉地区: 戸数 560戸、人口 約1,600人

〔事業費〕

高田地区: 約537億円 今泉地区: 約645億円

区画整理による造成計画



4(2) 被災市街地土地区画整理事業 ②

高田地区の進捗状況

- ・ 平成28年度中に概ね全地区の仮換地を指定。
- ・ また、平成28年度内に、高台3東エリア(H28.9)と高台4の宅地引き渡しを予定。
- ・ 中心市街地においては、平成28年8月に大型商業施設が着工、平成29年4月の開業を予定。

《造成状況》高田地区高台3



(H29年1月時点)



《造成状況》高田地区高台4



(H29年1月時点)

		年度別整備スケジュール(予定)					
		(H28年2月時点)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度 H30年度
高台2	東エリア	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
	西エリア	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
高台3	東エリア	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
	西エリア	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
高台4		準備・埋文調査等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
高台5		準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
高台6		準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
高台7		準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
かさ上げ部	中心市街地	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
	住宅早期再建エリア	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
	その他	準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		
平地部		準備等	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工		

4(2)被災市街地土地区画整理事業 ③

今泉地区の進捗状況

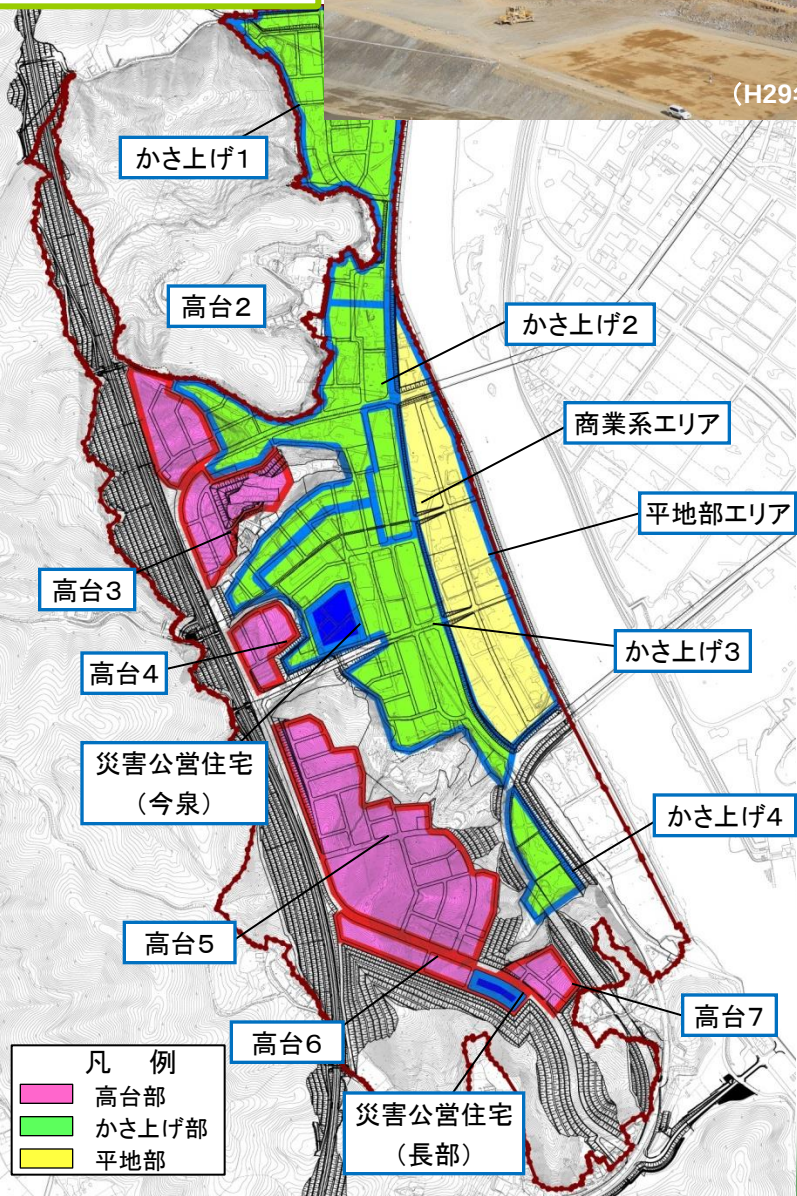
- 平成28年10月に全地区の仮換地を指定。

《造成状況》今泉地区



(H29年1月時点)

		年度別整備スケジュール(予定)					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
高台部	高台2		準備等	造成工事等			
	高台3		準備等	造成工事等			
	高台4	準備等	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工
	高台5	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工	
	高台6	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工	
	高台7	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工	
	災害公営住宅(長部)	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工			
かさ上げ部	災害公営住宅(今泉)	造成工事等		工事進捗に併せ順次建築着工			
	商業系エリア	準備等	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工
	かさ上げ1	準備等	造成工事等				
	かさ上げ2	準備等	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工
	かさ上げ3	準備等	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工
	かさ上げ4	準備等	造成工事等				工事進捗に併せ順次建築着工
	平地部エリア	準備等	造成工事等				

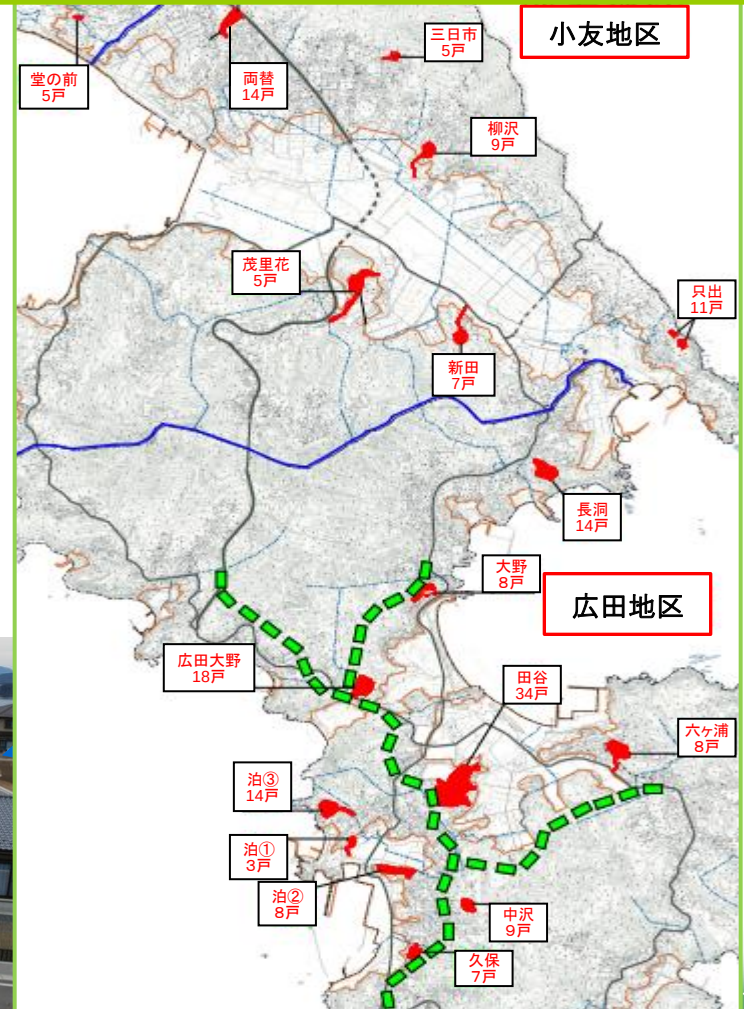


4(3)防災集団移転促進事業 ①

事業の概要

- ・ 市が高台に移転先となる住宅団地を整備。被災者は、市が造成した宅地を購入または賃貸して住宅を再建。
- ・ また、住居の移転に要する費用のほか、住宅建設等のために住宅ローンを活用する場合、利子相当分を市が助成。
- ・ 移転元地は被災者の意向により市が買取り。買い取った土地は「災害危険区域」に指定。

防災集団移転促進事業 住宅団地位置図



4(3) 防災集団移転促進事業 ②

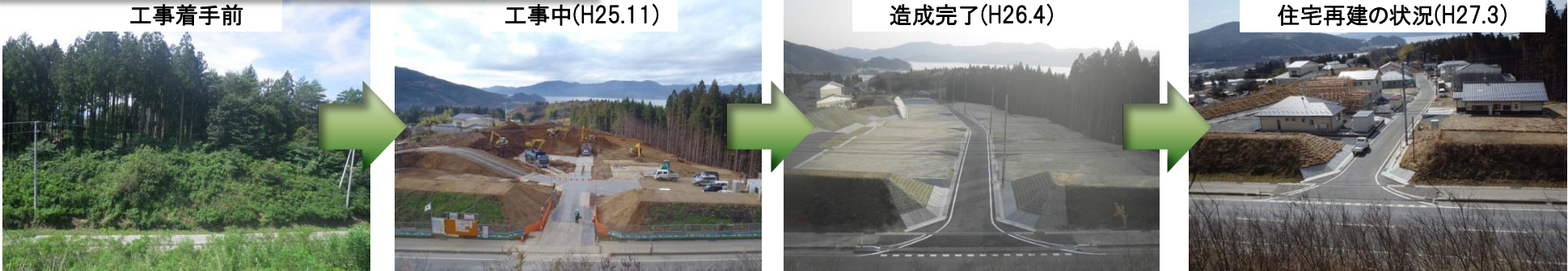
事業の進捗状況

- 住宅団地 30団地のうち、土地区画整理事業区域内を除く28団地の造成工事が完了し、順次、住宅再建が進んでいるところ。

(平成28年10月31日現在)

地区	団地名	移転戸数	造成状況	地区	団地名	移転戸数	造成状況	地区	団地名	移転戸数	造成状況
長部 (7団地)	福伏	5	H26.11 完了	米崎 (2団地)	脇の沢	69	H27.10 完了	広田 (10団地)	長洞	14	H26.6 完了
	要谷	7	H25.12 完了		堂の前	5	H25.9 完了		大野	8	H27.2 完了
	双六	3	H27.3 完了		小計	74			広田大野	18	H27.1 完了
	双六第2	3	H25.8 完了	小友 (6団地)	両替	14	H26.4 完了		田谷	34	H27.3 完了
	双六第3	6	H27.6 完了		三日市	5	H25.11 完了		六ヶ浦	8	H26.8 完了
	上長部	17	H26.1 完了		柳沢	9	H27.3 完了		泊 ①	3	H26.10 完了
	月山	50	H27.7 完了		茂里花	5	H27.3 完了		泊 ②	8	H26.12 完了
	(今泉高台)	11	H29 完了予定		新田	7	H26.3 完了		泊 ③	14	H27.10 完了
	小計	102			只出	11	H26.5 完了		中沢	9	H25.12 完了
矢作・ 竹駒・ 高田・ 今泉 (5団地)	下矢作	6	H26.8 完了		小計	51			久保	7	H26.6 完了
	館	8	H26.10 完了						小計	123	
	下沢	5	H27.2 完了					合計		499	
	高田高台	75	H30 完了予定								
	今泉高台	55	H30 完了予定								
	小計	149									

団地造成の経過 (小友地区 両替団地)



4(4) 災害復興公営住宅等整備事業

事業の概要

- ・ 住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、災害復興公営住宅を整備。
- ・ 入居者意向確認結果を踏まえ、計画戸数を1,000戸から895戸に縮減。

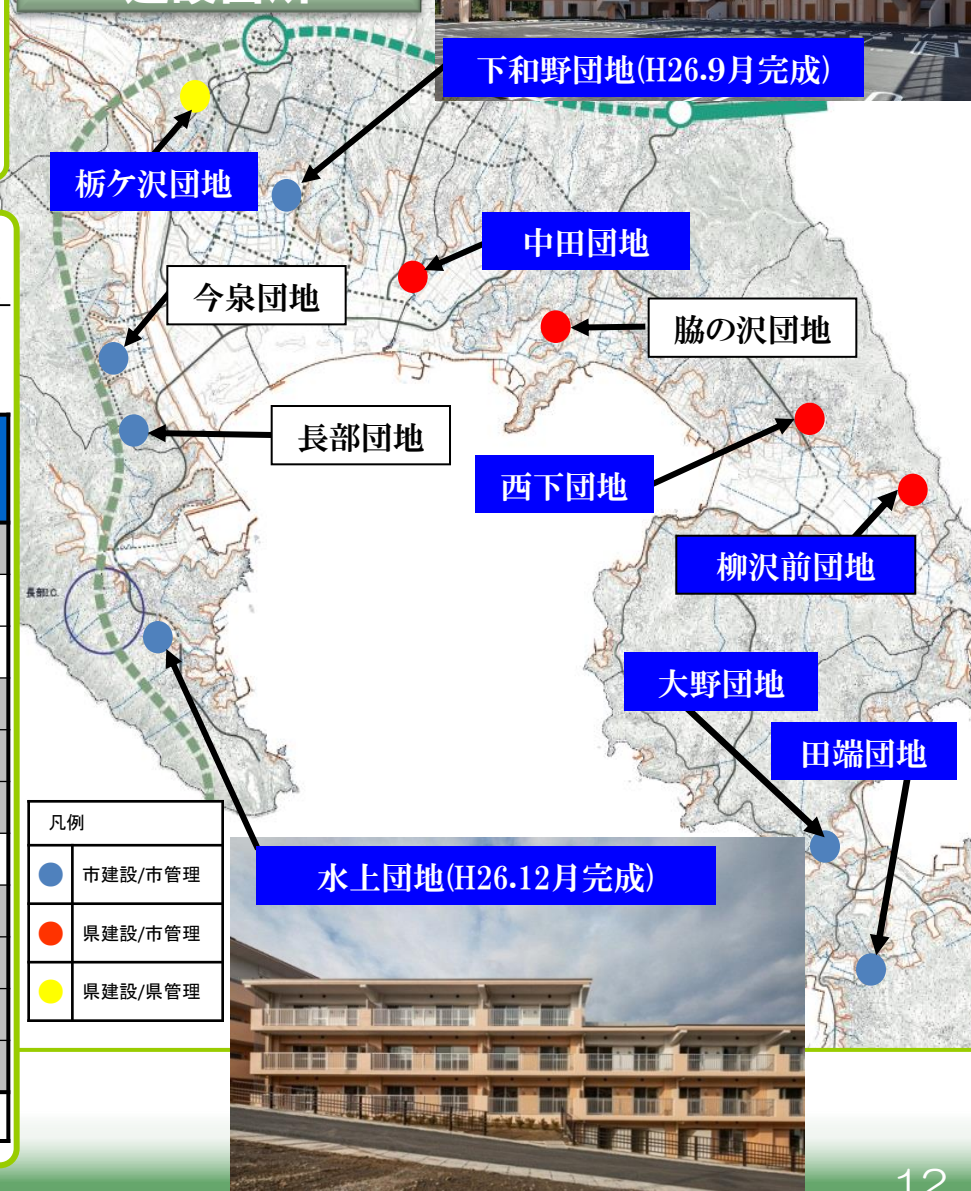
事業の進捗状況

- ・ 11団地(総建設戸数 895戸)のうち、8団地(761戸)の建設が完了。
- ・ 残る団地については、平成28年度中にはほぼ建設完了の予定。

(入居戸数は平成28年8月1日現在)

団地名	建設完了 (予定)年度	建設 戸数	構造/階 数	建設/管理	入居戸数 (建設中の団 地は予定)	入居開始時期
水上	H26	30	RC/3階	市営/市営	17	H27年1月入居
長部	H28	13	RC/3階	市営/市営	8	H29年度
今泉	H28	61	RC/3階	市営/市営	49	H29年度
栃ヶ沢	H28	301	RC/9階	県営/県営	227	H28年8月入居
下和野	H26	120	RC/7階	市営/市営	119	H26年10月入居
中田	H27	197	RC/8階	県営/市営	138	H27年11月入居
脇の沢	H29	60	RC/3階	県営/市営	38	H29年度
西下	H26	40	RC/4階	県営/市営	38	H27年2月入居
柳沢前	H26	28	RC/3階	県営/市営	20	H27年4月入居
大野	H27	31	RC/3階	市営/市営	15	H28年4月入居
田端	H27	14	RC/3階	市営/市営	6	H28年4月入居
合計		895			675	

建設箇所



4(5) 復興道路整備事業（都市計画道路等）

**道路整備箇所
(高田・今泉地区)**

三陸沿岸道路
(唐桑北 | C (仮) ~ 陸前高田 | C 間)
H30年度供用予定

(仮称) 今泉大橋
H30年度供用予定

国道340号
都市計画決定(H24.12)
都市計画変更(H27.1)

姉齒橋
H30年度供用予定

気仙大橋
H23.7.10供用(仮復旧)
H29年度本復旧予定

市道田森の前線（今泉高田連絡線）
都市計画決定（H24.12）
都市計画変更（H27.1）

国道45号
都市計画変更済み(H25.2)

三陸沿岸道路
(陸前高田IC～通岡IC間)
H26.3.23供用

市道西和野山苗代線（北幹線）
都市計画決定（H25.2）
都市計画変更（H26.3）

市道裏田中和野線（シンボルロード）
都市計画決定（H25.2）
都市計画変更（H26.3）

市道高田米崎間道路（仮称）

一般県道陸前高田停車場線（高田南幹線）
都市計画決定（H24.12）
都市計画変更（H27.1）

事業の概要

- 市街地の復興及び防災・減災等に寄与するまちづくりのため、新たな道路ネットワークを整備。

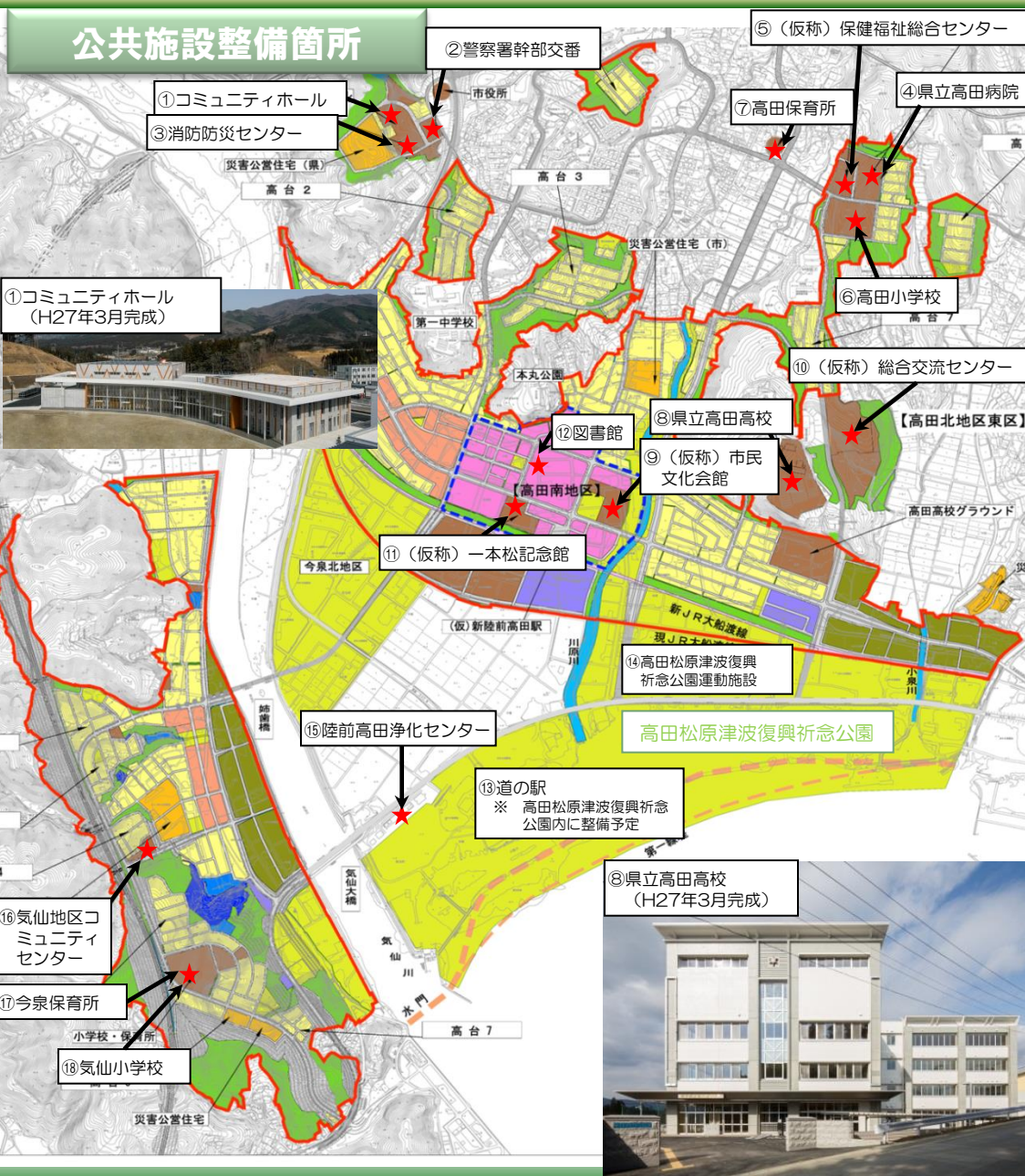
路線名	整備延長等	進捗状況	完成予定時期	凡例	路線名	整備延長等	進捗状況	完成予定時期	凡例
国道45号※	整備区間未定	整備中	—		市道町森の前線 (今泉高田連絡線)	約1,160m W=17.0m	整備中	H30年度	
国道340号	約3,880m W=11.5m	整備中	H30年度		市道西和野 山苗代線(北幹線)	約1,310m W=14.0m	整備中	H29年度	
一般県道陸前高田停車場線 (高田南幹線)	約3,800m W=20.0m	整備中	H30年度		市道高田米崎間 道路(仮称)	約2,060m W=13.5m	整備中	H30年度	
市道裏田中和野線 (シンボルロード)	約1,920m W=17.0m、 25.0m	整備中	H30年度		その他計画路線				

(凡例) ——— (実線)供用済み区間 — — — (破線)整備予定区間

※ 都市計画決定済みの区間を記載。

※ 国道45号については、気仙大橋を含めた区間を整備予定であるが、整備区間は未定。

4(6) 公共施設の整備状況（高田・今泉地区）



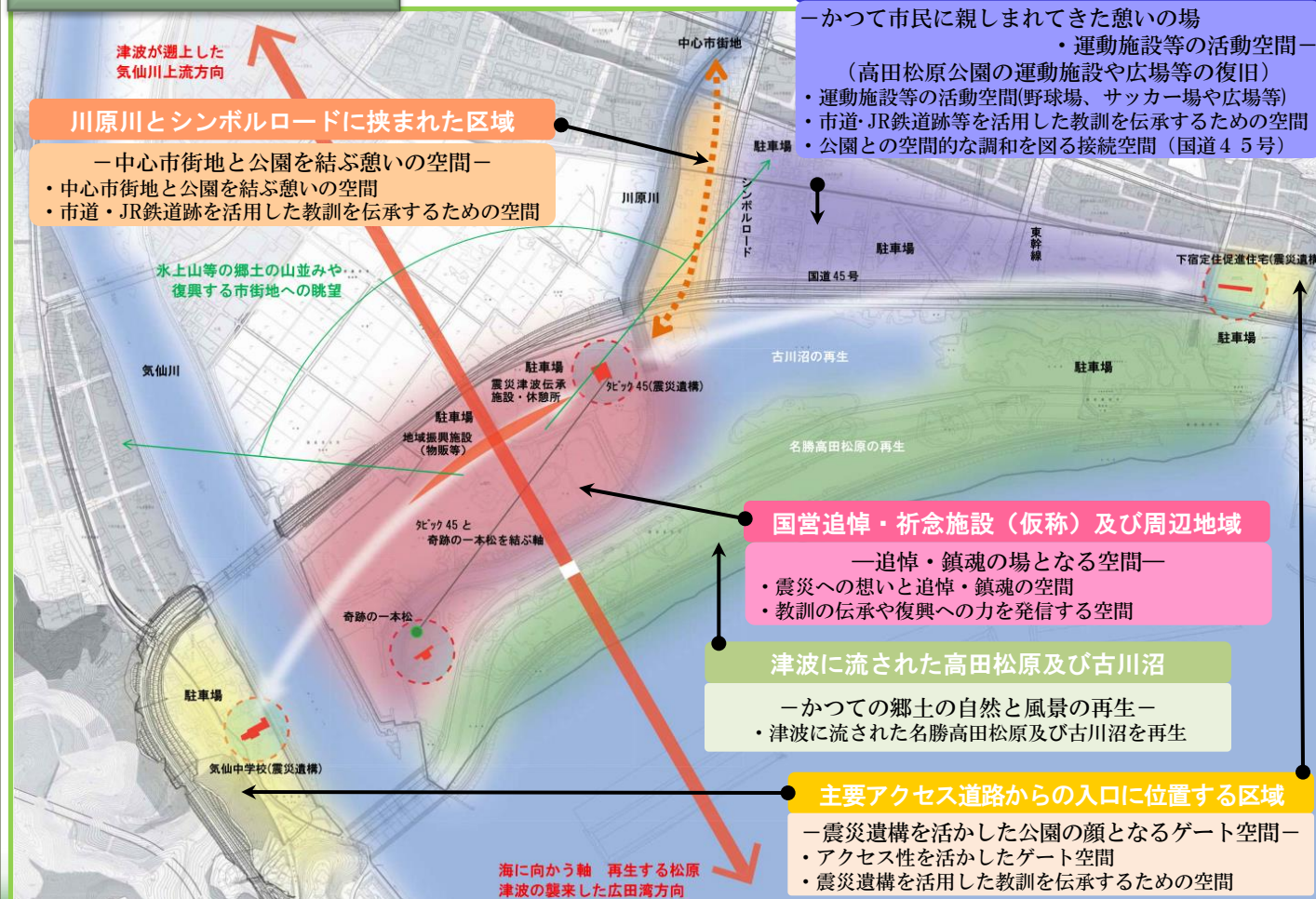
	施設名称	進捗状況	完成（予定）年度
高田地区	① コミュニティホール	完成済み	H27年3月
	② 警察署幹部交番	完成済み	H28年3月
	③ 消防防災センター	完成済み	H26年10月
	④ 県立高田病院	整備中	H29年度
	⑤ （仮称）保健福祉総合センター	整備中	H29年度
	⑥ 高田小学校	整備に向け検討中	未定
	⑦ 高田保育所	完成済み	H28年4月
	⑧ 県立高田高校	完成済み	H27年3月
	⑨ （仮称）市民文化会館	基本計画策定	H31年度
	⑩ （仮称）総合交流センター	整備中	H29年度
	⑪ （仮称）一本松記念館	基本構想・基本計画策定中	H30年度
	⑫ 図書館	整備中	H29年度
	⑬ 道の駅	基本計画策定 基本設計・実施設計中	H30年度
	⑭ 高田松原津波復興祈念公園運動施設	基本計画策定 基本設計・実施設計中	H31年度
	⑮ 陸前高田浄化センター	完成済み	H26年5月
今泉地区	⑯ 気仙地区コミュニティセンター	整備に向け検討中	H30年度
	⑰ 今泉保育所	造成中	H30年度
	⑱ 気仙小学校	造成工事中 基本設計・実施設計中	H30年度

4(7) 高田松原津波復興祈念公園

事業の概要

- 震災による犠牲者への追悼と鎮魂、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すことなどを目的とした、復興の象徴となる「復興祈念公園」を国・県と連携し、整備。

公園全体の空間構成



《復興祈念公園イメージパース図》



これまでの経過

H23.8	県が「岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画(第1期)」に「メモリアル公園等整備事業」を位置づけ
H23.12	市が「陸前高田市震災復興計画」に「防災メモリアル公園ゾーン」の形成を位置づけ
H24.1～H24.3	東日本大震災復興祈念公園検討会議、震災復興祈念公園基本構想検討会の開催(各3回)
H24.5	「国営防災メモリアル公園を陸前高田市に誘致する会」発足、署名活動の開始
H24.6	高田松原地区に国営防災公園整備を求めるための要請書及び署名を関係省庁に提出
H24.7～H25.2	「高田松原地区震災復興祈念公園構想会議」の開催(計4回)
H25.9～H26.6	「岩手県における復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会」の開催(計5回)
H26.6	「高田松原津波復興祈念公園基本構想」策定
H26.7～H27.3	「岩手県における復興祈念公園基本計画検討調査有識者委員会」の開催(計3回開催したほか、WG(空間デザイン4回、協働デザイン6回)を開催)
H26.10	「東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設(仮称)」の設置について「閣議決定」
H27.1	「重点道の駅」に道の駅「高田松原」が選定
H27.8	「高田松原津波復興祈念公園基本計画」策定

4(8) 高田地区中心市街地の形成①

事業の概要

- ・ 震災前の中心市街地を山側に移動・集約し、新たな中心市街地を形成。
- ・ 平成28年1月に「陸前高田市まちなか再生計画」が国から認定。まちづくり会社2社が、平成28年8月に中心市街地の商業集積の核となる大型商業施設に着工。（まちなか再生計画区域：約26ha）

中心市街地のイメージ

● 高田地区中心市街地の特徴

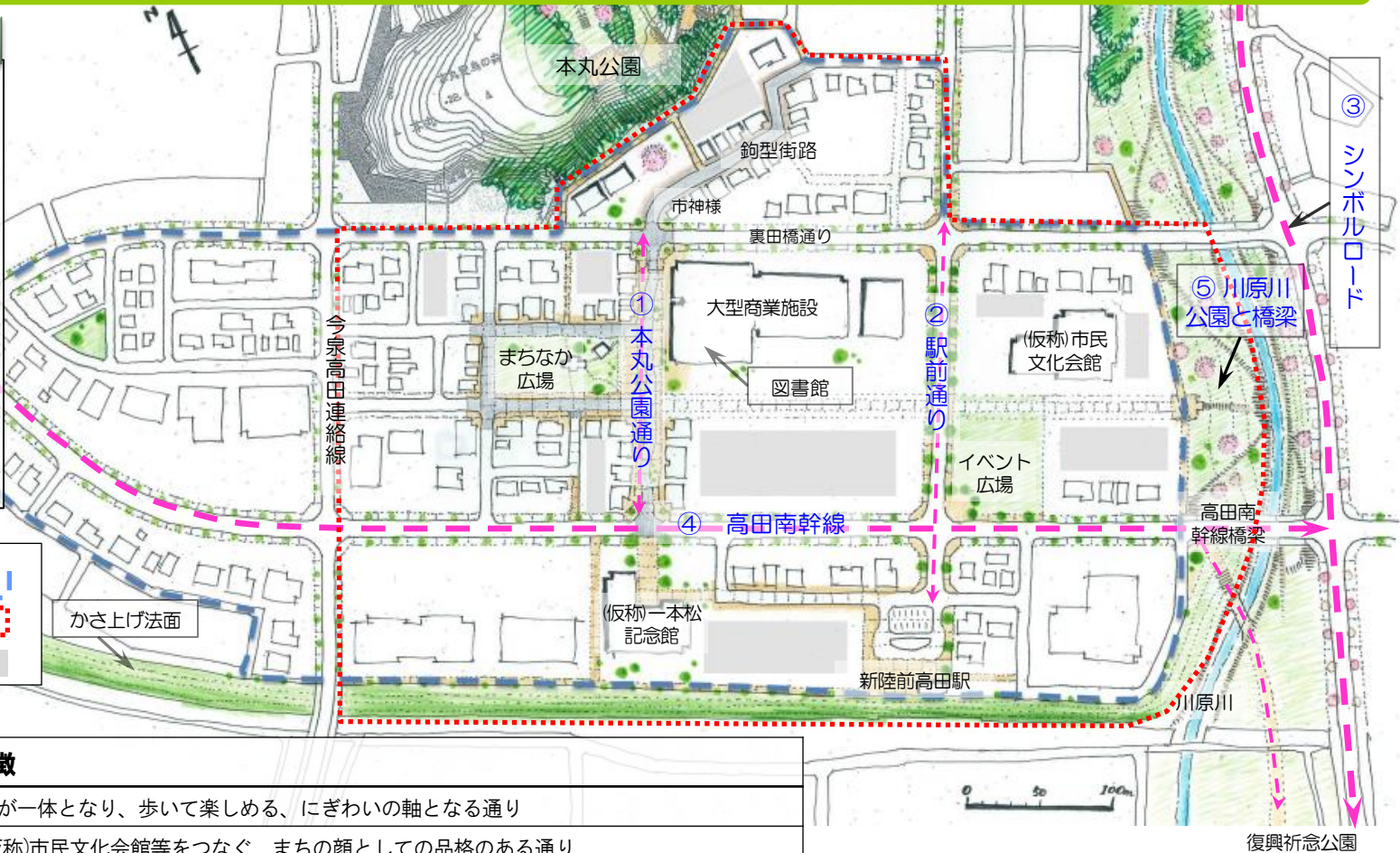
- ① 商業の拠点となる大型商業施設の配置、にぎわいのある商店街の形成
- ② 人が集まる公共施設や広場等を集約して配置
- ③ JR新陸前高田駅を中心とした公共交通拠点の形成、駐車場の適切な配置
- ④ 本丸公園の整備・活用、震災前のまちの面影の再現
- ⑤ 自然を通じ、憩いの場となる川原川公園の整備
- ⑥ 防災観光の拠点となる復興祈念公園との連携
- ⑦ 魅力的な道路・公園等のデザイン

【凡例】

- まちなか再生計画区域
- 一団地の津波防災拠点市街地形成施設(高田南地区)事業区域
- 駐車場

● 中心市街地の道路・公園等の特徴

① 本丸公園通り	沿道の建物と街路が一体となり、歩いて楽しめる、にぎわいの軸となる通り
② 駅前通り	新陸前高田駅、(仮称)市民文化会館等をつなぐ、まちの顔としての品格のある通り
③ シンボルロード	避難の軸となり、防災文化を次世代に伝えるとともに、復興祈念公園と市街地をつなぐ象徴的な道路
④ 高田南幹線	自動車による中心市街地へのメインアクセス道路
⑤ 川原川公園と橋梁	(川原川公園)復興祈念公園と市街地をつなぎ、陸前高田の自然・文化・記憶の継承の軸となる川辺空間(橋梁)復興祈念公園と市街地のゲートとなる象徴的な橋梁



※ この図はあくまでイメージであり、実際の整備に向けては引き続き検討を行うものです。

5 奇跡の一本松の保存、復興まちづくり情報館による情報発信

「奇跡の一本松」の概要

- 過去の度重なる津波から高田のまちを守ってきた、約7万本と言われる高田松原の松は、震災により大半が流失したものの、その中で唯一耐え残ったものが、「奇跡の一本松」。
- この一本松を復興の象徴として後世に受け継ぐため、モニュメントとして保存することとしたもの。
- 保存に当たっては、多額の費用を要するも、一本松の保存を目的とした「奇跡の一本松保存募金」により整備。

〔一本松の概要〕 高さ 約27.5m 幹の直径 約90cm 樹齢 およそ170年
〔モニュメントとしての保存工事に要した経費〕 約1.5億円

保存後の一本松



保存の経緯

H24.5	海水による枯死が確認
H24.7	「奇跡の一本松保存募金」開始
H24.9	保存工事開始
H25.6	保存工事完了
H25.7.3	保存事業完成式

陸前高田復興まちづくり情報館の概要

- 市内で進められている多くの復旧復興事業について、市民や来訪者に理解を深めていただくための施設。

〔展示内容〕

震災前後の状況、復旧・復興の状況等のパネル展示、高田松原に残っていた被災松の根の展示 等

〔開所日〕 平成26年8月6日

〔開館時間〕 午前9時～午後5時

〔入場者数〕 150,407人 (平成27年1月11日～平成28年2月29日の間) ※ 一日平均 368人の来館

〔所在地〕 高田町字古川地内 (旧道の駅高田松原タピック45駐車場内)

《復興まちづくり情報館 外観》



《展示物 (被災松の根)》



《展示物 (パネル)》



《展示物 (パネル)》

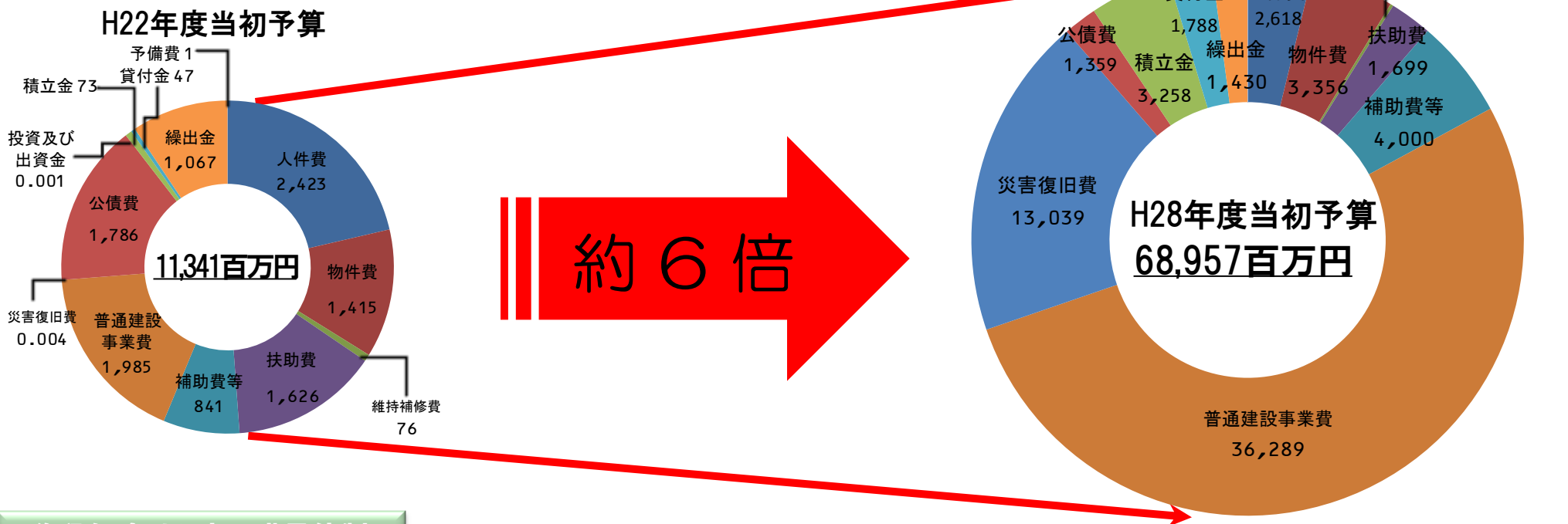


6 復興に向けた市の予算規模・職員体制

市の当初予算の規模

- 市のH28年度当初予算(一般会計)は、約 690億円であり、H22年度当初予算約 113億円の約6倍。

H22年度とH28年度当初予算の比較(目的別)



復興に向けた市の職員体制

- 市のH28年度4月末時点の職員数は、501名。(内訳: 正職員263 任期付職員42 嘱託職員62 臨時職員44 派遣応援職員90)

H22年度とH28年度職員体制の比較(各年度4月時点)

